

健保からのお知らせ

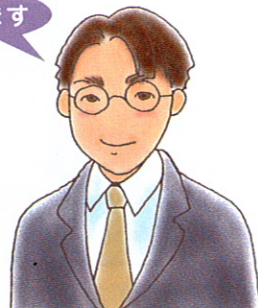
Q&A 健保スタッフがお答えします 第11回

ジェネリック医薬品 について



ご不明な点は
お気軽に
お問合せください。

私がお答えします



田中伸幸

Q₁ ジェネリック医薬品ってどんな薬？

A₁ 医療機関で処方される薬には、「新薬（先発医薬品）」と「ジェネリック医薬品（後発医薬品）」という薬があります。新薬は、製薬メーカーが最初に開発・発売した薬で、開発メーカーは特許を取得して、その期間中、独占的に製造・販売しています。その特許期間が満了した後に、厚生労働省の承認を得て、他のメーカーが製造した薬がジェネリック医薬品です。

Q₂ ジェネリック医薬品を使うメリットは？

A₂ 新薬と同じ成分・効き目でありながら、価格が安いメリットがあります。ジェネリック医薬品の価格は平均すると新薬の約半額と言われており、患者さんの負担する薬代も減ります。慢性的な病気の治療に使う長期間の服用が必要な薬ほど、価格差のメリットが大きくなります。また、年々増加を続ける国の医療費節減にも役立ちます。

Q₃ ジェネリック医薬品は どうして安い？

A₃ 新薬の開発には、10～15年の年月と、数百億円もの投資が必要といわれています。一方、ジェネリック医薬品は3～5年ほどと短い期間で、開発コストも安く抑えられるため、ジェネリック医薬品の価格は新薬より安く提供されています。

Q₄ ジェネリック医薬品の効き目・安全性は どうなの？

A₄ 新薬は、特許期間が満了するまでの間に多くの患者さんに使用され、その成分の有効性や安全性が確認されています。ジェネリック医薬品は、新薬の特許満了後に、同じ有効成分で製造・販売されますので、品質に違いはないと言えます。

Q₅ ジェネリック医薬品について調べる方法はあるの？

A₅ 健保組合のホームページでは、「かんじゃさんの薬箱（日本ジェネリック医薬品学会）」、「GENERIC GUIDE（日本調剤株式会社）」のサイトにリンクしています。こちらでジェネリック医薬品・ジェネリック利用医療機関の検索などができます。ぜひ、ご活用ください！（15ページをご参照ください。）

Q₆ ジェネリック医薬品を使ってみたくて、 どうすればいいの？

A₆ 病院でもらった処方せんの中の「後発医薬品への変更不可」の欄に医師のサインがなければ、薬剤師に相談するとジェネリック医薬品を選べます。ジェネリック医薬品の使用は医師・薬剤師にご相談ください。

【ご注意】薬によってはジェネリック医薬品が製造・販売されていないものもあります。



【事業所の社名変更について】

●平成23年6月1日付で、株式会社旭川ダイハツモーターズが道東ダイハツ販売株式会社と合併され、社名を北北海道ダイハツ販売株式会社に変更されました。

表紙格言の著者紹介

ウォルター・バジヨット
(1826～1877)

イギリスのジャーナリスト・評論家・経済学者・思想家。
1826年にサマセット州のラングポートで銀行家の一人息子として誕生。25歳の時、パリへの旅行中、ルイ・ナポレオンのクーデターを目撃した。この体験が契機となり、エドモンド・バークの保守主義の政治思想に傾倒した。評論家としては、政治・経済・社会・文芸・歴史・人物と幅広い分野を対象とした。
出典：フリー百科事典「ウィキペディア（Wikipedia）」

12ページの「かなクロスワードパズル」の答えは「アキノヨナガ」でした。